

清香会 100周年記念イベント ～感謝と新たな未来へ～



この度、社会福祉法人清香会は創立 100 周年を迎えることができました。
5月25日、清香会の母体である福岡県豊前市「清高りとるぱんぷきんず」にて、福岡、関東の職員をはじめ、保護者や卒園児（成人を迎えています！）も巻き込み企画しながら、100周年記念イベントを開催しました。

当日は、園内にてあるてやルアナなどの保育体験、野外ステージではキッチンカーも出店し、在園児のマーチングや卒園児のダンスチーム、パンプキンジャヤーなどさまざまな出し物が会場を盛り上げてくれました。

また、式典では法人を支えてくださった方々をお招きし、これまでのご支援への感謝をお伝えする貴重な時間となりました。

さらに、今回の節目を記念し、カメルーン出身のアーティスト、マーク・イヤファー氏による100周年を表現したアート作品を制作いただきました。

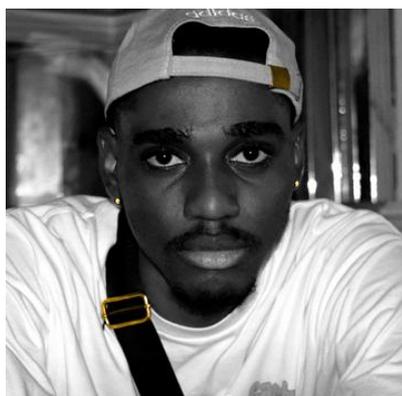
『文字だけでは伝わりづらい想いを、絵で表現し視覚に訴えることでより感覚的に伝わるように』という目的です。

清香会は社会福祉法人になる前はお寺だったため、仏像をモチーフにしています。

名前は【慈悲の抱擁】です。

この絵に込められた想いは『思いやりと傾聴』『保護とヘルプ』『浄化と援助』『バランスと調和』『光と希望』です。

さあ、皆さんは、この絵を見てどんな印象を持たれましたか？



マーク・イヤファー氏



慈悲の抱擁

この作品は、新たな試みとして、法人の未来を鮮やかに彩る象徴となることでしょう。
また、アーティストの佐々木加奈子さんには法人理念をアートとして制作いただきました。
またご紹介させていただきます。

100年の歴史を共に歩んでくださった皆様への感謝の思いと共に、これからも清香会は子どもたちの健やかな成長を見守り、新たな挑戦を続けてまいります。
(中野)